

## 1 自然観察会

さわやかな秋空のもと、3コースの自然観察会を実施しました。  
その様子をご紹介します。

### 柿田川の湧水を巡る自然観察会

日時：平成21年10月4日(日)午前9時30分から正午まで  
場所：柿田川公園周辺(駿東郡清水町) 参加者：26名  
案内：(財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

「柿田川公園」内の遊歩道を歩きながら、柿田川の清流や貴重な動植物を間近で見学しました。

また、県企業局東部事務所柿田川支所管内にある取水施設「八幡取水場」も訪れ、場内の見学をしました。



柿田川に生息する絶滅危惧植物の解説  
(漆畑会長：写真中央)



川の水がきれいだな～



公園内の鳥やトンボも観察しました。



柿田川の湧水を水源とした水道事業の説明  
(堀井 柿田川支所長：写真中央)

## 朝霧ふれあいの森を巡る自然観察会

日時：平成21年10月10日(土)午前10時から午後2時まで  
 場所：朝霧ふれあいの森(富士宮市) 参加者：25名  
 案内：富士宮自然観察の会

「朝霧ふれあいの森」を散策しながら、人工林から自然林への移り変わりの様子や、どんな樹木や野草が生育しているのか観察しました。

昼食後には「森のセミナー」が行われ、富士山の自然に関する興味深いお話を聞きました。



足元に生えている野草の解説



参加してくれた中学生が、  
看板の説明をみんなに聞こえるように、  
大きな声で読んでくれました。



「森のセミナー」では、富士山の水、  
紅葉のシステム、外来種等について説明があり、  
参加者の皆さんも熱心に耳を傾けていました。



放置林と育成林の違いの解説  
 (仁藤会長：写真左端)

## 富士山の動植物に触れる自然観察会

日時：平成21年10月12日(月・祝)午前9時から午後4時まで

場所：富士山麓山の村(富士宮市) 参加者：31名

案内：富士常葉大学

富士常葉大学が事前に設置した「ヒメボタル」の幼虫捕獲用トラップと森林土壌を採集し、その中から「ヒメボタル」や土壌生物を探す作業をしました。

その後、探し出した土壌生物の名前を模造紙に書き出し、各班ごとに発表しました。

最後に、富士山の自然や土壌生物についての講話がありました。



捕獲用トラップと森林土壌を採集



ヒメボタルいるかな～



班ごとに探し出した土壌生物を発表。  
各班とも15種類前後の土壌生物を見つけました。  
ちなみにヒメボタルは全体で3個体  
見つけることができました。



富士山の自然や動植物についての講話  
(山田教授：写真中央)

参加者の皆様からアンケートをとったところ、3コースともほとんどの方が「大変よかった」という意見を寄せてくれました。富士山の自然に直に触れたことで、富士山への環境保全意識を高めていただけたのではないかと感じております。

関係者の皆様には、3コースとも無事開催できたことを心よりお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

(11月14日(土)開催予定でした「富士山ふれあいの森を巡る自然観察会」は、荒天のため、中止になりました)